

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2年前期	2	2	選択
担当教員			
本多 明生			
添付ファイル			
講義概要			
心理学は、こころの働きや仕組みを科学的に解明しようとする学問である。現代は、こころの時代と形容されることがあるが、その一方で、こころに関する様々な誤った知識が流布している。したがって、現代を生きる私たちにはこころに関する正確な知識が求められている。この授業では、心理学に関する基礎的な知識や代表的な研究成果、現代社会への応用について学ぶ。 本科目はアントレプレナーシップ教育におけるコミュニケーション能力に該当する内容を扱う。			
授業計画	1	はじめに ガイダンス、心理学とは 準備学習： ・シラバスを読むこと 課題： ・心理学とは何かを説明する（AL①とAL②） ・レポート（AL④）	
	2	脳と心 脳の構造と機能、脳の可塑性、脳にまつわる神話と事実 準備学習： ・前回の授業内容を復習しておくこと 課題： ・脳の構造と機能、脳の可塑性、脳にまつわる神話と事実を説明する（AL①とAL②）	
	3	感覚と知覚 感覚の仕組み、錯視、多感覚研究 準備学習： ・前回の授業内容を復習しておくこと 課題： ・感覚の仕組み、錯視、多感覚研究を説明する（AL①とAL②） ・レポート（AL④）	
	4	条件づけ1 古典的条件づけ、古典的条件づけの応用 準備学習： ・前回の授業内容を復習しておくこと 課題： ・古典的条件づけ、古典的条件づけの応用を説明する（AL①とAL②）	
	5	条件づけ2 オペラント条件づけ、オペラント条件づけの応用 準備学習： ・前回の授業内容を復習しておくこと 課題： ・オペラント条件づけ、オペラント条件づけの応用を説明する（AL①とAL②） ・レポート（AL④）	
	6	学習 動物行動学、観察学習 準備学習： ・前回の授業内容を復習しておくこと 課題： ・動物行動学、観察学習を説明する（AL①とAL②） ・ディベート（AL⑤） ・レポート（AL④）	
	7	記憶1 記憶の仕組み、記憶にまつわる神話と事実 準備学習： ・前回の授業内容を復習しておくこと 課題： ・記憶の仕組み、記憶にまつわる神話と事実を説明する（AL①とAL②）	
	8	記憶2 忘却と変容、日常記憶 準備学習： ・前回の授業内容を復習しておくこと 課題： ・忘却と変容、日常記憶を説明する（AL①とAL②） ・レポート（AL④）	
	9	意思決定 リスク認知、プロスペクト理論 準備学習： ・前回の授業内容を復習しておくこと 課題： ・リスク認知、プロスペクト理論を説明する（AL①とAL②） ・ディベート（AL⑤） ・レポート（AL④）	

	1 0 感情 感情，表情認知，身体と感情 準備学習： ・前回の授業内容を復習しておくこと 課題： ・感情，表情認知，身体と感情を説明する（AL①とAL②） 1 1 発達 遺伝と環境，認知発達 準備学習： ・前回の授業内容を復習しておくこと 課題： ・遺伝と環境，認知発達を説明する（AL①とAL②） ・レポート（AL④） 1 2 性格 性格，類型論と特性論，血液型性格診断のもつ問題点 準備学習： ・前回の授業内容を復習しておくこと 課題： ・性格，類型論と特性論，血液型性格診断のもつ問題点を説明する（AL①とAL②） ・ディベート（AL⑤） ・レポート（AL④） 1 3 社会的影響 他者の存在の力，同調と服従，研究倫理 準備学習： ・前回の授業内容を復習しておくこと 課題： ・他者の存在の力，同調と服従，研究倫理を説明する（AL①とAL②） 1 4 ウェルビーイング ストレスと健康，ポジティブ心理学 準備学習： ・前回の授業内容を復習しておくこと 課題： ・ストレスと健康，ポジティブ心理学を説明する（AL①とAL②） ・レポート（AL④） 1 5 心理学の今 心理学の今準備学習： ・前回の授業内容を復習しておくこと 課題： ・心理学の今を説明する（AL①とAL②） 1 6 試験 試験とまとめ 準備学習： ・これまでの授業内容を復習しておくこと
授業形態	講義 アクティブラーニング：①：15回，②：15回，③：0回，④：9回，⑤：3回，⑥：0回
達成目標	(1) 心理学に関する基本的な事柄を説明することができる。（基礎） (2) 世間に流布しているところに関する誤った知識とその内容を説明することができる。（基礎） (3) 心理学における代表的な研究成果を説明することができる。（標準） (4) 日常場面における人間行動の基本的な特徴を心理学の視点から説明することができる。（標準） (5) 心理学の知見を自身のこれからの生活や行動の改善に役立てることができる。（応用）
評価方法・フィードバック	成績は，平常点（30%），課題点（45%），試験成績（25%）で評価する。平常点はリアクション・ペーパーをもとに評価する（15回×2点＝30点（%））。全15回のリアクション・ペーパーのうち，未提出が6回以上あった場合，達成目標に関する適切な成績評価が行えないことから，成績評価は「不可」になるので注意すること。課題点は，全9回の課題（レポート，ピアレビュー等）をそれぞれ5点で評価する（9回×5点＝45点（%））。全9回の課題のうち，未提出が4回以上あった場合，達成目標に関する適切な成績評価が行えないことから，成績評価は「不可」になるので注意すること。なお，レポートとは，基本的に，自分の考えや主張を記述したもので，他人に読んでもらうことを前提に，一定期間内で作成するものである。したがって，この条件を守っていないレポート（締め切りを守らないなど）は，評価ができないので注意すること。また，レポートを作成する際，論文・雑誌・新聞等を引用した場合は，出典を明記すること。ピアレビューとは，提出されたレポートを学生同士で評価する課題である。試験成績は，問題予告型の論述試験（持ち込み不可）の成績で評価する。試験を受けなかった場合，達成目標に関する適切な成績評価が行えないことから，成績評価は「不可」になるので注意すること。リアクション・ペーパーは授業終了後返却する。課題点は採点結果をフィードバックする。試験答案は日時を決めて希望者には返却する。
評価基準	秀（1～5）：100～90，優（1～4）：89～80，良（1～3）：79～70，可（1～2）：69～60，不可：59以下 ただし，カッコ内は達成目標の項目を示す
教科書・参考書	教科書：使用しない。資料を配布する。 参考書1：「心理学（第5版補訂版）」，鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃（編集），東京大学出版会，ISBN-10：4130121170 参考書2：「心理学研究法（ライブラリ心理学の杜）」，本多明生・山本浩輔・柴田理瑛・北村美穂（共著），サイエンス社，ISBN-10：4781915396 参考書3：「ポジティブ・シフト：心理学が明かす幸福・健康・長寿につながる心の持ち方」，キャサリン・A・サンダーソン（著），本多明生（訳），ディスカヴァー・トゥエンティワン，ISBN-10：4799329545 参考書4：「悪事の心理学：善良な傍観者が悪を生み出す」，キャサリン・A・サンダーソン（著），本多明生（訳），ディスカヴァー・トゥエンティワン，ISBN-10：4799330152 参考書5：「月に向かえ！：最新心理学が明かす「アポロ計画」を成し遂げた人たちのマインドセット」，リチャード・ワイズマン（著），本多明生（訳），ディスカヴァー・トゥエンティワン，ISBN-10：4799331000
履修条件	認知・生命科学への誘いを履修済みであることが望ましい。

履修上の注意	(1) 第1回目の授業のときにガイダンスを行う。受講者は必ず出席すること。 (2) この授業では学生同士でディスカッションやプレゼンテーションを行う機会がある。受講者には主体的・積極的な参加を期待する。 (3) 授業ではディベートを行うので授業への参加に支障がない程度の日本語運用能力は必須である。 (4) レポートやピアレビュー等の成果は受講者で共有することがある。
準備学習と課題の内容	・受講者は、学びを深めるために、心理学に関係しそうな映画を4本程度をピックアップして視聴すること（例えば「LUCY／ルーシー（監督：リュック・ベッソン）」「GHOST IN THE SHELL / 攻殻機動隊（監督：押井守）」「時計じかけのオレンジ（監督：スタンリー・キューブリック）」「メメント（監督：クリストファー・ノーラン）」「50回目のファースト・キス（監督：ピーター・シーガル）」「グース（監督：キャロル・バラード）」「イエスマン “YES” は人生のパスワード（監督：ペイトン・リード）」「es（監督：オリヴァー・ヒルシュベ格尔）」「THE WAVE（監督：デニス・ガンゼル）」「アイヒマンの後継者：ミルグラム博士の恐るべき告発（監督：マイケル・アルメレイダ）」「ペイ・フォワード可能の王国（監督：ミミ・レダー）」など多数ある）（合計8時間程度）。 ・事前準備として各授業回では1.5時間以上かけて前回の授業内容の復習と予習を行うこと（合計22.5時間以上）。 ・課題は最低でも1時間以上かけて大学生として相応しい内容にすること（合計10時間以上）。
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解:25%, 思考・判断:20%, 関心・意欲:20%, 態度:15%, 技能・表現:20%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	